

Liberal & Democratic 自由民主党 蒲郡市議団通信 vol.021



団長
あやま よしあき
青山 義明

先ずもって、参議院選挙の応援演説中に凶弾に倒れた安倍晋三元首相の国葬が9月27日に厳かな雰囲気の中、執り行われました。心より哀悼の意を捧げます。

さて、今回の市政報告は、9月議会の一般質問「企業用地・企業支援について」です。

問◇市の企業用地の確保はどのようか？
答◇竹谷町大久古、神ノ郷町国京、水竹町及び平田町、柏原町坂野を、優先的に再検証を進めている。また、民間開発を支援しながら、企業庁による開発も検討して行く。

問◇企業用地に関するニーズを掴んでいるか？
答◇国道23号名豊道路の全線開通を見据え、市内外の企業・デベロッパー・ゼネコンから問い合わせがある。市が把握している立地ニーズとしては、15社程度である。

問◇先端設備導入支援として、どのような補助金があるか、また申請等のサポートは実施しているのか？
答◇「ものづくり補助金」・「事業再構築補助金」・「小規模事業者持続化補助金」や「販路拡大事業費補助金」等がある。また、市が補助を行い、蒲郡商工会議所が実施する専門アドバイザー支援事業では、経営や新技術に関し、各種専門アドバイザーによる個別支援や産業力向上事業では、各種申請支援を行っている。以上が私の9月定例会一般質問の要約です。今後も蒲郡市の経済発展、働く場の確保に努め若者が住みたくなるまち住んで良かったまちになるように市と共に頑張ります。今後とも市民の皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



幹事長
おおば やすのり
大場 康議

9月議会一般質問 大塚金野線について
○(都)大塚金野線は大塚鎌倉交差点から北へ3km上り国道23号線蒲郡バイパス金野インターと繋ぐ路線であり、途中のミトゴルフ場の下トンネル工事、東海道線や東海道新幹線との交差整備の計画等の準備を交差協議にて進めています。東海道線との交差はアンダーパス設計で地下を通し、新幹線の交差は道路拡幅となります。今年度には鎌倉交差点から南へ通す臨港道路海陽3号線が完成します。臨港道路の南側には県企業庁が所有する16haの未利用地があり、今後の計画が期待されます。関連する市道整備では大塚金野線と交差する松下後広畑1号線整備が今後進められ、市が相楽町に誘致した工場が市街地を通過することなく、国道23号蒲郡バイパス金野インターへ行けるようになります。私は次期都市計画マスタープランに大塚金野線沿線の土地活用について明確に示すべき時期にあると質問しました。市の答弁は次期計画では第一次産業の用地や企業用地としての土地利用の検討を進めていく事を「大塚金野線沿線の土地利用検討の方針」としてしっかり掲げていきたいと回答がありました。



政調会長
おおさか はやし
大須賀 林

蒲郡市の下水道は豊橋市に次いで、近隣では2番目となる昭和52年に供用開始となり、生活排水等の汚水は浜町浄化センターで浄化された後に、海に放流されています。市民憲章三つの誓いにある「海と空を美しく」につながるものであり、先進的な取組が行われていました。

ただ現状は、下水道普及率66.5%と県内でも低く、隣接の市町より下回っている状況です。経営面では、令和元年度以降それまでの特別会計から企業会計に変わり、水道、病院と並んで独立採算制と公共性を併せ持った事業体となりました。住みよいまちづくりに下水道の普及は市民の悲願です。45年前から下水が使えるようになって、まだ下水の未整備が残っています。これからの下水道を考えたとき、浄化センターの維持管理にかかる費用が、かなり増えていて料金収入を圧迫している現状を何とかしないといけません。議会では、浄化センターを廃止し汚水を三河湾に海中敷設した管渠で県の豊川浄化センターへ送る案を提示しました。



総務会長
すずき まさひろ
鈴木 将浩

「インボイス制度」は皆様ご存知でしょうか？簡単に言えば、正しい書式の請求書を発行すれば、消費税の控除ができるよ、という制度になります。システム改修や消費税の負担が増えてしまう事業者も多く、また企業だけでなく、NPO法人や個人事業主、行政や団体にとっても関係する制度になるため、9月定例会の一般質問で取り上げました。

さまざまな課題への対応や、補助制度の必要性などを話していますので、ぜひYouTubeをご覧くださいと思います。

ちなみに、インボイス制度のスタートは2023年10月からですが、2023年3月31日までに登録が必要になります。少しでも心当たりのある方は改めて制度について調べてみてください！



おおむらい まさよし
大向 正義

「市議会議員は自ら説明責任を果たすべきだ」
安城市長や大府市長は、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関連団体に、祝電やイベントで挨拶をしていました。碧南市長は、友好団体が昨年、名古屋市内で開催した会合で、実行委員長を務めていました。この碧南市長の市長選挙応援に行き、自らの市議会選挙にも応援に来てもらっていた、蒲郡市議会議員もいます。

私にも1年ぐらい前、3名の女性が来られ、会合での市政報告の依頼がありました。私はお断りしました。同僚の他の市議会議員にも手紙や電話で依頼がありましたが、私同様、断ったとのこと。このように地方議員のところにも魔の手が伸びています。おそらく他の会派の市議会議員にも依頼があったと思われます。鈴木エイト著「自民党の統一教会汚染追跡3000日」によるとP136に「信者自身が素性を隠して地方選挙に出馬、幾人かは当選し、確認できているだけでも愛知県蒲郡市や千葉県流山市、大阪市等で信者地方議員が誕生した。」と記載されています。市議会議員は、政治にかかわる者として、自ら説明責任を果たすべきと考えます。

また、議長あてに市民団体から「旧統一教会との関係の有無について明らかにすること。今後旧統一教会との関係を一切断つこと」の申入書が提出されています。議長は、リーダーシップを発揮して、市議会議員の世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との関係について調査すべきです。



ふじた ひろき
藤田 裕喜

このたび議会で「蒲郡市に公営の合葬墓の設置」を求める請願が出されました。みなさんは「公営の合葬墓の設置」について、どうお感じですか？

現在、蒲郡市には公営の墓地はありません。従って、まずは公営の墓地のあり方から、議論を始める必要があります。公営の墓地であるなら、様々な宗教の方が利用できるようにする必要がありますし、文化・慣習の違いや葬送のあり方の多様性についても踏まえる必要があります。また、合葬墓については、市内では民間事業者がすでに設置しており、公営で設置した場合、民業圧迫につながる可能性もあります。

私としては、まだ議論しなければならぬ点が多岐に渡り、現時点では、公営の合葬墓を設置するよう求める段階ではないと考え、反対の討論をいたしました。結果として、反対多数で請願は不採択となりましたが、今後も議論を深めていく必要がある課題であると感じました。



① 青山義明

テーマ
『企業用地・企業支援』



④ 鈴木将浩

テーマ
『インボイス制度』



② 大場康議

テーマ
『大塚金野線』



⑤ 大向正義

テーマ
『子どもファースト / 民主主義の危機』



③ 大須賀 林

テーマ
『下水道の今後』



⑥ 藤田裕喜

テーマ
『ベビーファースト宣言』



スマートフォンでもパソコンでも、
いつでも簡単に閲覧できます!

6人の議員が
各テーマで約10分間の
市政報告を実施中!
QRコードから
ぜひご覧ください。



● 自由民主党蒲都市議団 活動報告 ●

要望活動① 東三河建設事務所 (8/3)

8月3日に東三河建設事務所へ出向き、地球温暖化によるゲリラ豪雨や台風に備えて、河川改修及び土砂浚渫の要望を林愛知県副知事をお願いしました。また、247号中央バイパスの4車線化・鉢坂トンネルの473号のルート選定や港の整備等の要望を行いました。



要望活動② 愛知県庁 (8/25)

8月25日に鈴木蒲郡市長と飛田愛知県議会議員とともに愛知県を訪問し、道浦建設局長や金田敏交通局長をはじめとした担当部署の皆様に対して、道路・港湾・河川などの社会基盤整備に加え、東港地区のまちづくり推進も含めた蒲郡市の総合要望を行いました。



要望活動③ 蒲都市への要望会 (10/28)

10月28日に鈴木寿明蒲郡市長を訪問し、令和5年度の予算要望書を提出させていただきました。「イマジン ウェルビーイング がまごおり ～想像しよう 幸福あふれる がまごおり～」と題して大きく3つのテーマを掲げて重点事項を示しながら、細目については今回新たに約60個の項目を追加し、合計200を超える項目を要望いたしました。また、今回は令和4年度12月定例会に向けて、物価高対策に関する補正予算も合わせて要望をいたしました。



令和5年度予算要望 (新規要望抜粋)

- ◆ こどもファースト部の創設・こども条例の制定
- ◆ バス通園での置き去り事故等の安全管理
- ◆ おむつ定期便の新設
- ◆ 企業・農業・漁業の電気料・燃料高に対する補助
- ◆ インボイス制度の実施に向けた補助対応
- ◆ 庁内駐車場の整備・拡充・屋根設置
- ◆ 蒲郡町部におけるデマンド型交通の導入
- ◆ 不妊治療費助成事業の拡充
- ◆ 三河大島の通年利用
- ◆ サーキュラーシティに関する具体的支援策の創設
- ◆ カーボンニュートラルに関する具体的支援策の創設
- ◆ 旅館・ホテルでのワーケーションの検討推進
- ◆ 新規就農者のための蒲郡独自の支援策の制定
- ◆ eスポーツやドローンなどの活用促進
- ◆ 通学路や通園道路の危険箇所整備
- ◆ リフォーム助成金制度の継続実施
- ◆ 特別教室へのエアコン設置
- ◆ GIGAスクール実現のためICT支援員の拡充
- ◆ インクルーシブ教育推進のための特別支援員の増員
- ◆ リーディングプロジェクトにおける複合施設に温水プールの併設
- ◆ 一色最終処分場跡地へスポーツ施設の設置(スポーツ公園化)